



菊石の魅力

きくいし

猿投の銘酒

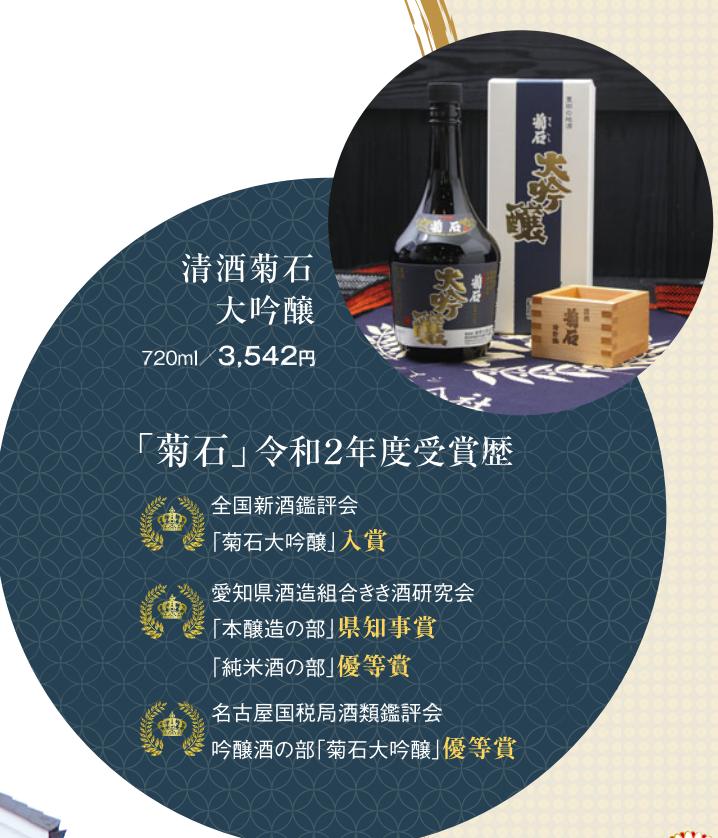
卷頭
特集

百五十年モノの酒蔵が育む

「古くは庄屋として年貢米の管理をする傍らで、初代・浦野判十郎がお酒を造りはじめました」と語るのは代表社員の武内（浦野）さん。造った酒は地域の鎮守である猿投神社に奉納してきました。清酒「菊石」の名前は猿投神社から、猿投山の麓で見られる天然記念物「菊石（球状花崗岩）」の名

土地開発が進む四郷エリアの一角に、150年の歴史を刻む酒蔵「浦野合資会社（浦野酒造）」があります。「清酒・菊石」という名前に親しみを感じる人も多いかもしれません。元治元年（1864）創業の酒蔵に隣接する販売所の入り口には、新酒が出来上がったことを知らせる杉玉がかけられていきました。

時代の波にも柔軟に対応
浦野酒造が生み出す「菊石」



「菊石」令和2年度受賞歴

全国新酒鑑評会
「菊石大吟醸」入賞

愛知県酒造組合きき酒研究会
「本醸造の部」県知事賞
「純米酒の部」優等賞

名古屋国税局酒類鑑評会
吟醸酒の部「菊石大吟醸」優等賞